

しながわ 平和のための戦争資料展

91 第8回

日本国憲法と平和

8 / 7 ~ 10
(水) (土)

心新たに
戦争の真実を見つめ
核兵器廃絶と平和を願う



展示内容ごあんない

日本の侵略とアジア

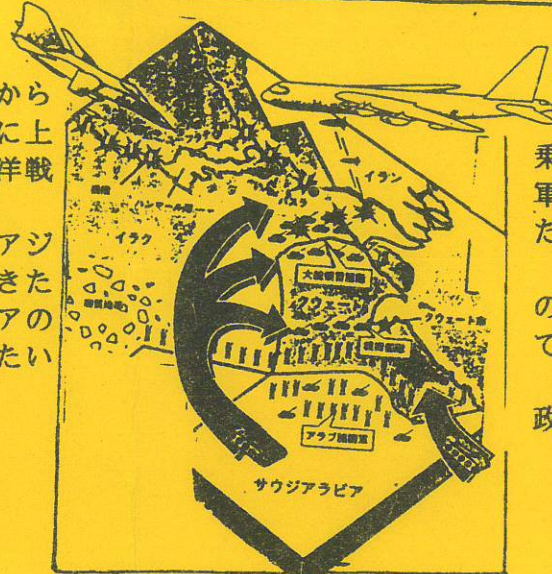
今年1931年の柳条湖事件(満州事変)から60年目、また、1941年日本がマレーシアに上陸、真珠湾を奇襲して始まったアジア・太平洋戦争から50年目を迎えます。

この戦争の中で、日本は、朝鮮、中国、東南アジアの民衆に対していったいどんなことを行ってきたのか、湾岸戦争前後の日本の動きのなかでアジアの民衆は今日の日本をどう見ているのか考えてみたいと思います。



八王子(浅川)地下壕

最近あちこちで戦争中作られた地下壕が話題になっていますが、都内にも大きな地下工場が作られていました。そこは品川とも無縁ではないのです。今年5月に見、調べてきたことを中心に紹介します。



湾岸戦争とは?

イラクのクエート侵略を非難する世界の声に乗じて、米軍を主力とする多国籍軍は、イラク軍をクエートから無条件撤退がこの戦争の目的だとして、1月17日に開戦に踏み切りました。テレビ画面を通じて報道される戦争は、人間のおいしくない、さながらテレビゲームを見ている感じを人々に与えました。

湾岸戦争を利用して、国際協力の名の下に、政府は戦争参加の道を歩み始めていますが...



戦後の戦争と日本

世界全体を見渡すと、第2次世界対戦が終わってから、平均して毎年2回くらい、地球上のどこかで戦争が起きている。戦争までに至らなくても小さな紛争や、武力衝突まで含めると、その数はもっと多くなる。戦争で家を焼かれたり、家族を失ったりする人々の悲しみが、今も続いている。

日本の自衛隊も、年々増強され、有事の場合自衛隊が米軍と共同して戦う手順が着々と整備されている。自衛隊の動きに監視を!

高校生と湾岸戦争

湾岸戦争は、高校生たちにもさまざまなインパクトを与えました。その意識調査を高校生自身の手で行い、データをまとめました。

湾岸戦争の回避、早期終決を願う高校生達のメッセージとあわせて紹介します。



学童疎開の生活

戦争中の子ども達は、場によって、いろいろな体験をし、その場から戦争を見てきました。その一つの間としての学童疎開の生活を、当時の子ども達の絵や作文によって、共に学びその持つ意味を考えていきたいと思ひます。



しながわ平和のための戦争資料展実行委員会は年間を通して活動しています。あなたの力をお貸しください。

今、日本国憲法は?

日本国憲法は、自衛のための戦力の保持も認めていません。が、日本は、湾岸戦争後にペルシャ湾に掃海艇を派遣しました。憲法第9条が、時の首相の言葉から解釈を変えていった歴史をみていきます。

今、日の丸、君が代

昔、御真影、教育勅語、金次郎

日の丸・君が代の強制!

その実態を見ていると、戦前の御真影や、二宮金次郎が果たした役割とダブってしまいます。



主催・しながわ

TEL(3776)1351(小河原)

「平和のための戦争資料展」実行委員会